

DXハイスクール域内横断支援事業業務委託に関する企画提案募集要項

1 趣旨

域内のデジタル人材育成4つの取組として、「全国情報教育コンテストに向けた取組事例の幅広い周知」、「情報担当教員の指導力向上研修会の実施」、「高校生に対する実践型の講座開設」、「取組事例発表会の開催」を行う。

2 業務委託の内容

DXハイスクール域内横断支援事業業務委託仕様書のとおり

3 応募資格

次の各号の要件を満たす団体とする。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4規定に該当しない者であること。
- (2) 企画提案書等の提出日において、千葉県物品等入札参加資格を有する者であること。
- (3) この公募開始の日から審査完了の日までに、物品等一般競争入札参加者及び指名競争入札参加者の資格等に基づく入札参加資格の停止を受けている日が含まれないこと。
- (4) この公募開始の日から審査完了の日までに、千葉県物品等指名競争入札参加者指名停止等基準に基づく指名停止及び物品調達等の契約に係る暴力団等排除措置要領に基づく入札参加除外措置を受けている日が含まれないこと。
- (5) 宗教活動や政治活動を主たる目的とした者でないこと。
- (6) 特定の公職者(候補者を含む)又は政党を推薦、支持、反対することを目的とした者でないこと。

4 委託金額(予定上限額)

9,900,000円(消費税及び地方消費税込み)

5 業務の委託期間

契約締結日から令和8年3月21日までとする。

6 審査方法及び選考方法

(1) 審査基準

審査基準は、別表に掲げる項目及び基準により行う。

(2) 選考方法

選考は、「DXハイスクール域内横断支援事業業務受託者審査委員会」において、審査基準に基づき審査する。なお、応募が4者以上の場合には、審査委員会の前に、事務局による書類審査を行う。

7 質問票の提出及び回答

(1) 提出期限

令和7年7月1日正午まで(必着)

(2) 提出方法

「質問票」を学習指導課へ電子メールまたは郵送にて送付すること。

※未到着等の事故防止のため、電子メール送信後、電話にて送付の旨を連絡すること。

(3) 回答方法

令和7年7月3日に、質問者に対して電子メールで回答するとともに、県ホームページに掲載する。

8 企画提案審査への参加手続

委員会に参加を希望する場合は、仕様書に係る企画書を提出すること。

(1) 提出期限：令和7年7月10日午後5時まで(必着)

(2) 提出方法：ちば電子申請サービスにより、電子データ(PDF形式)を提出。
電子データでの提出が困難な場合、郵送等も可とする。

(3) 提出部数：正本1部、副本1部(様式は任意)

9 DXハイスクール域内横断支援事業業務受託者審査委員会の実施

(1) 日 時：令和7年7月17日午前10時から

(2) 実施方法：対面またはオンライン

(3) 場 所：千葉県庁中庁舎9階 企画管理部会議室

(4) 提案時間：1者20分程度

10 その他

(1) 提出された書類等はオンライン参加の選定委員に事前送付し、審査委員会後破棄するよう依頼する。返却はしない。

(2) 本プロポーザルに係る提案等に要する経費は、提出者の負担とする。

(3) 提出された書類等は、必要に応じて複写する。なお、使用目的は県庁内及び審査委員会での検討に限る。

(4) 千葉県情報公開条例に基づく行政文書の開示請求がなされた場合、提出された書類の内容を開示することがある。

(5) 最終的な委託内容の詳細については、選考後、委託契約締結までの間に千葉県教育委員会と協議して決定する。

11 問合せ先

千葉県教育庁 教育振興部 学習指導課 ICT教育推進室

電話：043-223-4178

FAX：043-221-6580

Mail：kyict@mz.pref.chiba.lg.jp

審査項目及び基準

No.	審査項目	審査基準	配点
1	学校教育に対する企業の経営理念（5点）	・第4期千葉県教育振興基本計画を踏まえた千葉県の学校教育に携わるにふさわしい企業理念のもと、健全な経営を行っているか。	5
2	全国情報教育コンテストに向けた取組事例の幅広い周知（40点）	・全国情報教育コンテスト出場及び受賞に向け、県域や他県の取組事例を周知できるか。	15
		・県のホームページや採択校間で繋がっているチャットツールにて広く公開し、県域での全国情報教育コンテストへの積極的な参加を促すことができるか。	15
		・学んできた知識や技術を生徒同士で競わせ、情報教育に対する生徒や先生の意欲を向上させ、全国情報教育コンテストに向けた取組を活性化することができるか。	10
3	情報担当教員の指導力向上研修会の実施（40点）	・大学や企業から講師を招聘し、AIやデータサイエンス、プログラミング等情報Ⅱに特化した内容で、指導力向上に資する研修会を実施できるか。	15
		・悉皆研修を1回以上行い、希望する教諭については複数回の研修会を実施できるか。	15
		・全国情報教育コンテストに向けた効果的な指導力向上に資する研修会となっているか。	10
4	高校生に対する実践型の講座開設（40点）	・域内の高校生に対して、AIやデータサイエンス、プログラミングをテーマとした企業見学の実施や実践型の講座を開設できるか。	15
		・高校生に情報系の大学や情報Ⅱの内容の魅力を持たせるとともに、情報系の大学への進路選択を支援するよう取り組めるか。	15
		・全国情報教育コンテストの出場を見据えた講座開設となっているか。	10
5	取組事例発表会の開催（40点）	・取組内容を幅広く県内に周知するために、中学生や採択校の高校生、教諭を対象とした取組事例発表会（採択校による口頭発表とポスター発表）を開催できるか。（県内全域を対象とするためオンラインと対面のハイブリッド開催とする。）	15
		・大学教授又は企業から講師を招聘し、デジタル人材育成をテーマとした基調講演を実施できるか。	15
		・全国情報教育コンテストへの出場を見据えた成果発表会として開催できるか。	10

6	DXハイスクール域内横断支援前後の効果測定 (10点)	・DXハイスクール域内横断支援前後のデジタル人材育成状況の比較を定量的かつ定性的に行うことができるか。	10
7	サポート体制(10点)	・各学校での要望やトラブルに対応するため、十分なサポート体制が確保されているか。	10
8	他の自治体や学校での導入実績(10点)	・他の自治体や学校での導入実績は具体的かつ実証的か。	10
9	経費の妥当性(5点)	・見積書に算定根拠が明確に示されており、DXハイスクール域内横断支援事業の経費として適正か。	5